

埼玉県公立高校入試漢字出題一覧

出題年度	読み問題	解答	出題年度	書き問題	解答	
平成30年度	養蜂について調べる。	ようぼう	平成30年度	国家間で互いのケンエキを争う。	権益	
	エジプト文明が興隆を極める。	こうりゅう		的をいた質問をする。	射	
	萎えた気持ちを奮い立たせる。	な		要点をカンケツに述べる。	簡潔	
平成29年度	話の輪郭をつかむ。	りんかく	平成29年度	休日はモツパから読書をして過ごす。	専	
	美しい旋律が流れる。	せんりつ	平成28年度	興奮して頬をコウチョウさせる。	紅潮	
	はさみで布を裁つ。	た		巧みに機械をアヤつる。	操	
平成28年度	勢力の均衡を保つ。	きんこう		平成27年度	電車がケイテ主を鳴らす。	警笛
	俊敏な動きを見せる。	しゅんびん	夕日が空を赤くソめる。	染		
	命の大切さを論ず。	さと	平成26年度	文学作品のヒョウロンをする。	評論	
平成27年度	稚拙な字を書く。	ちせつ		ヒタイに汗して働く。	額	
	峡谷を風が吹きぬける。	きょうこく		平成25年度	来賓がシュクジを述べる。	祝辞
	運命に身を委ねる。	ゆだ	自分のオサナイころを思い出す。		幼	
平成26年度	厳密な審査を行う。	げんみつ	平成24年度		力士がドヒョウに上がる。	土俵
	国から県へ管轄を移す。	かんかつ	長距離走の自己記録を十秒もチヂめた。	縮		
	岩かげに魚が潜む。	ひそ	平成23年度	この映画のラストシーンはアッカんだ。	圧巻	
平成25年度	空き地に繁茂した雑草。	はんも		絵を見る目をコやす。	肥	
	過去の例を踏襲する。	とうしゅう		平成22年度	舞台は盛況のうちにヘイマクした。	閉幕
	話し合いが和やかに進む。	なご	平和な時代がオトズれる。		訪	
平成24年度	荘重な調べに耳を傾ける。	そうちょう	本をきれいにホウソウして贈る。		包装	
	春の俳句の中では秀逸な句である。	しゅういつ	祖母からよい知恵をサズかる。	授		
	花の香りが漂う。	ただよ	平成21年度	儉約のためサイフのひもを締める。	財布	
平成23年度	台風は漸次東に移動しつつある。	ぜんじ		雨が続き開催をアヤぶむ。	危	
	彼は穏健な考えの持ち主だ。	おんけん		平成20年度	駐車場のチンタイ契約を結ぶ。	賃貸
	先生の忠告を肝に銘じて取り組む。	きも	人気作家として注目をアびる。		浴	
平成22年度	異なる意見でも排斥しない。	はいせき	平成19年度		登山に向けてメンミツな計画を立てる。	綿密
	会議への出席を頻繁に催促される。	ひんばん	友人を学級委員の候補にオす。	推		
	他の人の手を煩わすまでもない。	わずら	平成18年度	インターネットのコウザイについて論議する	功罪	
	文学雑誌が逐次刊行される。	ちくじ		説明の足りない部分をオギナう。	補	
	無限の広がりを見せる漆黒の夜空。	しっこく		平成17年度	試合時間をエンチョウする。	延長
平成21年度	卒業の喜びに浸る姉。	ひた	人形を上手にアヤツる。	操		
	平成20年度	伝統的な舞踊を習う。	ぶよう	平成16年度	楽器をエンソウする。	演奏
		学校生活を満喫する。	まんきつ		友人を家にマネク。	招
古い慣習が廢れる。		すた	平成15年度		「防災の日」にヒナン訓練を行う。	避難
輸入制限を緩和する。	かんわ	田畑をタガヤす。		耕		
平成19年度	両者の意見を折衷する。	せつちゅう		平成14年度	初戦で敗退し練習不足をコウカイした。	後悔
	試合運びが粗い。	あら	ひまわりのカンサツ日記を書く。	観察		
	足のけがは完全に治癒した。	ちゆ	平成13年度	問題点をケントウする。	検討	
貿易の不均衡を是正する。	ぜせい	彼の話を聞いてナツクした。		納得		
先生のお宅に伺う。	うかが	平成12年度		スコやかに成長することを願う。	健	
平成18年度	彼を説得し、翻意を促した。		ほんい	生き方を日々ネットウにおく。	念頭	
	名作を読み、感涙にむせぶ。		かんるい	平成11年度	兄は電車でツウキンしている。	通勤
	新しい任地に赴く。	おもむ	毛糸でセーターをアむ。		編	
平成17年度	不朽の名作。	ふきゅう	平成10年度		うがいは、かぜの予防にコウカがある。	効果
	暫定的な計画を立てる。	ざんてい		駅の近くに店をカマえる。	構	
	体育着の破れを繕う。	つくろ		※操るは2回出題		
平成16年度	コンピュータに膨大なデータが保存されている。	ぼうだい	平成15年度			
	怠惰な生活を改める。	たいだ				
	内容を詳しく説明する。	くわ				
平成15年度	ノートを携えて図書館へ行く。	たずさ	平成14年度			
	草花の苗を頒布する。	はんぷ				
	伝統文化を継承する。	けいしょう				
平成14年度	特集記事を連載する。	れんさい	平成13年度			
	早い時間に就寝する。	しゅうしん				
	荷物を預ける。	あず				
平成13年度	巻き込まれ困惑した。	こんわく	平成12年度			
	手を清潔にする。	せいけつ				
	鮮やかな逆転勝ちを収める。	あざ				
平成12年度	税金を納める義務がある。	おさ	平成11年度			
	乗り越し料金を精算する。	せいさん				
	首脳会議が開かれる。	しゅうのう				
平成11年度	健康のために塩分を控える。	ひか	平成10年度			
	雲が切れて山の輪郭が現れる。	りんかく				
	ホームランで試合の均衡が破れる。	きんこう				
平成10年度	地震に備えて食料を蓋える。	たくわ				
	あたりは静寂に包まれた。	せいじゃく				
	コンピュータが普及する。	ふきゅう				

※輪郭と均衡は2回出題